

## 所長あいさつ



## 子供たちが 笑顔で学校生活を 送ることを願って

水戸教育事務所長 湯浅 友明

このたび、茨城県水戸教育事務所に赴任しました湯浅でございます。

水戸教育事務所管内には県都水戸市を中心に、北は天子町、南は小美玉市の11市町村があります。市町村の状況は、自然環境や社会環境など様々です。学校数は小学校、中学校、義務教育学校を合わせて165校、児童生徒数は約5万6千人、そして、教職員数は約4千人となります。

学校教育は、社会の急激な進展に伴い、大きな転換期を迎えています。こうした中、「社会に開かれた教育課程」を目指した新学習指導要領が、昨年度の小学校に続き、今年度から中学校でも全面実施となりました。

変化に向き合い、他者と協働して課題を解決していく力、学び得た知見や経験から新たな価値を創造する力など、「持続可能な社会の担い手」として多様な変化に柔軟に対応できる力をもった「人財」の育成が求められています。

現在も引き続きコロナ禍で、困難な学習環境にあります。子供たちが抱えるストレスに大人が気付く必要があります。そして、「新しい生活様式」に適応しつつ、子供たちが安全・安心な学校生活を送れるように、努力し続けることが大切だと考えています。

水戸教育事務所としましては、子供たちが笑顔で学校生活を送れるよう、管内市町村教育委員会と連携して、各学校や子供たちを支援してまいります。

皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。



## 令和3年度学校教育指導方針説明会【所長講話ポイント】

子供、地域、保護者が何を期待しているのかをしっかりと聞いて、その思いの実現に向けて学校経営に努力してほしい。「校長で学校は変わる」と言われる。これまでのいい流れは最大限に生かし、課題については全職員で解決に取り組んでほしい。（次の3点は、講話の一部です。）

### 1 学校管理運営について

○「働き方改革」～各学校の教職員（特に管理職）の意識改革や具体的な取り組み次第で進み具合に変化が出る。子供の成長のために何を重視するかを考えるとともに、「当たり前を止める」勇気も必要となる。

○同僚性の高い学校は、協働体制も確立できている。風通しがよく、チーム力も高い。コンプライアンス意識も高い。学校全体としての組織力の向上をお願いしたい。

### 2 学校教育指導方針

○学校教育は、社会の急激な変化に伴い、大きな転換期を迎えている。新学習指導要領では、「社会に開かれた教育課程」が掲げられている。

○GIGAスクール構想による一人一台のタブレット端末の有効活用を図って、学習活動の充実に結び付けてほしい。



### 3 子供が安心して過ごせる学校づくり

○コロナ禍において、大人が気付かない不安やストレスを抱える子供もいるはず。困難を抱える子供たちに目を向け、必要な場合にはスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、地域、関係機関などと連携して子供を支えてほしい。

○事務所は教育委員会と連携し学校をバックアップしていきたい。子供たちが笑顔で学校生活を送れるようにしていきたい。